

第2回「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」 議事概要

日時：2014年10月23日(木) 13:30～15:40

場所：3 東洋海事ビル B+C 会議室

出席者(敬称略)：

(委員長) 宮野

(副委員長) 関村

(幹事) 田中

(委員) 浅沼、阿部、安部田、内田、可児、田所、服部、柳原、山中、林道、渡邊

(オブザーバー) 福田、森山(代理 JAEA 船坂)、鈴木、堀池、NDF 倉崎、JAEA 有井、JAEA 山口、IRID 大橋

(事務局) 荒井

1. 委員長挨拶

委員長より冒頭のあいさつがあり、また新たに可児委員と瀧口委員が委員に加わったことが紹介された。

2. 議事録の確認

前回の第1回廃炉検討委員会の議事録について、承認された。

3. 廃炉検討委員会の方針等

- ・当委員会の活動に規格基準化、標準化に向けた活動も含めることについて、また情報発信の具体案について審議し承認された。
- ・学会事故調の提言と課題についてフォロー等を行う分科会の設置について審議し承認された。

4. 研究開発の状況

4-1 IRID の研究開発

IRID が行っている廃炉に関する研究開発の現状と課題について鈴木オブザーバーから説明があり、質疑をとおして情報共有を図った。

4-2 JAEA の研究開発

JAEA が行っている福島第一の廃止措置に関する取組みについて船橋オブザーバーから説明があり、内容等について確認した。

4-3 原子力安全研究の状況

関村副委員長から、原子力安全研究を効果的に計画、実行するために重要な技術マッ

プ、ロードマップ策定について、またこれらを支える多様な人材の確保と育成について、学会の特別専門委員会での検討状況が紹介され、廃炉との関係について確認が行われた。

4-4 大学における廃止措置研究・教育(例)

柳原委員から、大学における廃止措置研究・教育の例として福井大学の例について紹介が行われた。

5. その他

5-1 春の年会の企画セッション

日本原子力学会の来年春の年会の企画セッションに申し込む提案書について審議し、基本的な方針を承認した。

5-2 次回委員会

次回委員会の日時について、2015年1月7日(水)13:30～15:30 とすることを確認した。

以上